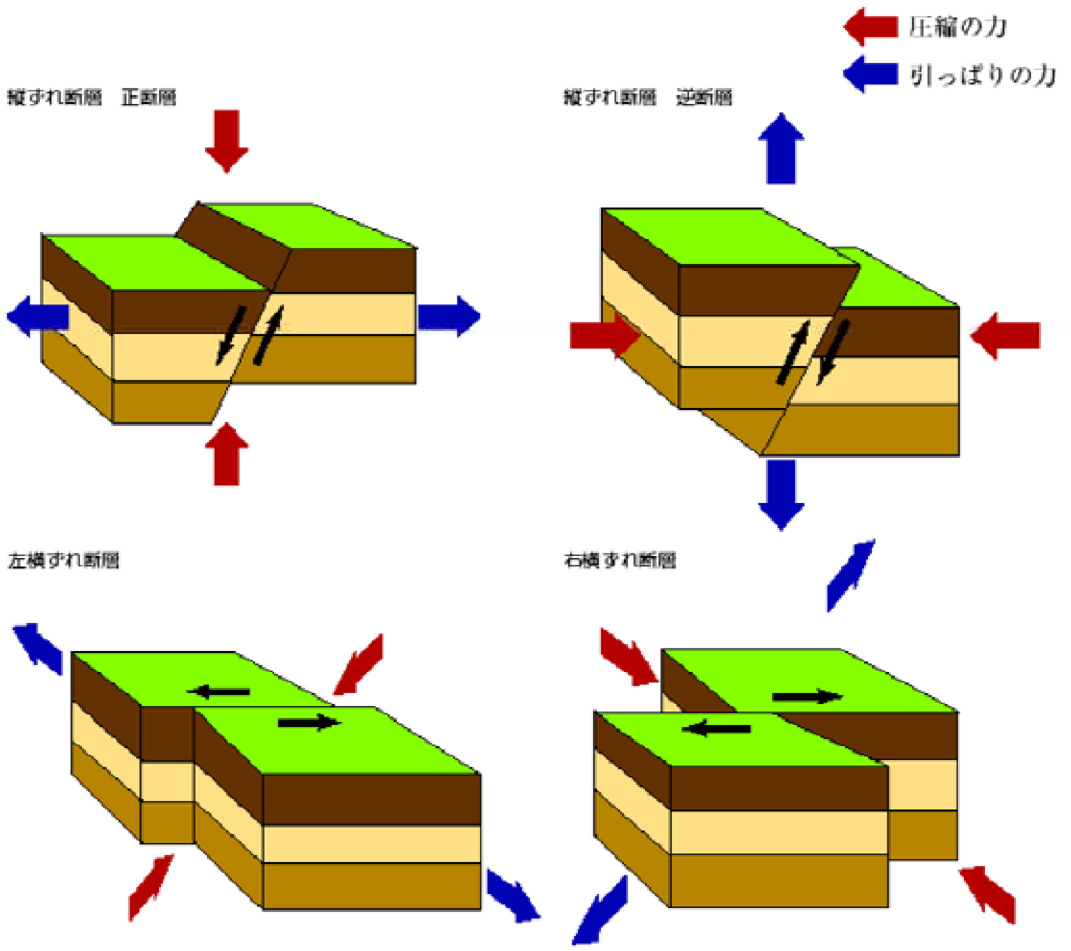
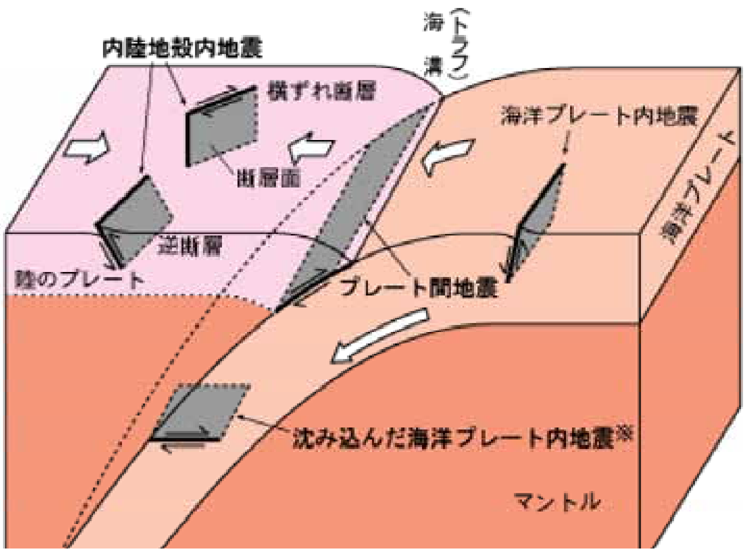
以上のよな経過を経て地層に断層が出来、それが互いにズレていると、その断層が外部からの力により動くことを活動している断層という意味で、「活断層」と云います。

その動きはまちまちで　大きく分けると　①　縦ズレ断層　正断層。

②　縦ズレ断層　逆断層。　　③　左横ズレ断層　　④　右横ズレ断層



この断層がプレートが移動しますから、プレートの接触面からその力が伝わってきて断層の向きや上下によって力の加わる方向が異なり、断層面にストレスが溜ることになります。なを人間に溜るストレスも地学の用語を拝借したモノで、地学が先です。

このストレスが溜って、あるとき限界を超え、耐え切れなくると活断層の活動で、断層に大きなズレを生じ、大きな揺れが断層地震です。

ですから直下型になることが多く、被害も大きくなります。